

■9月18日 (土) 午前

会場	① (C11)	② (C12)	③ (C13)	④ (C21)
	(定番) 地学教育・地学史	(定番) 石油・石炭地質学と有機地球化学	(定番) 岩石・鉱物の破壊と変形	(定番) 岩石・鉱物・鉱床学一般
	座長：矢島道子 (245-249), 天野一男 (250-252)	座長：金子信行 (118-120), 加藤 進 (121-122)	座長：西川 治 (123-131)	座長：壺井基裕 (218-221), 隅田祥光 (222-224)
9:00				
9:30	ナウマンの叙勲, 金 光男 O-245		9:00 O-123 国内初の隕石クレーター (御池山クレーター) の発見. 坂本正夫・アーノルド グチック・西戸裕嗣・蛭川清隆・奥村 輔・豊田 新・志知龍一	9:00 O-218 捕獲岩のSr, Nd同位体組成. 山元正継・近藤梓・深井勇年・鈴木真悟
9:45	神保小虎, 石川貞治, 横山壮次郎による北海道地質調査・鉱物調査. 松田義章 O-246		9:15 O-124 御池山クレーターから見出された衝撃変成石英について. 西戸裕嗣・坂本正夫・アーノルド グチック・蛭川清隆・奥村 輔・豊田 新	9:15 O-219 夜久野オフィオライトのジルコンのSHRIMP U-Pb年代. 木村光佑・早坂康隆・隅田祥光
10:00	休憩		9:30 O-125 中央構造線の応力履歴. 重松紀生・藤本光一郎・田中伸明	9:30 O-220 虫川コンプレックス中の変斑れい岩のSHRIMP年代. 隅田祥光・竹内誠・木村光佑・早坂康隆
10:15	ジオパークへの地方大学の役割. 天野一男 O-247		9:45 O-126 MTLを貫く飯高赤桶コアの断層の変質鉱物と応力履歴の対比. 藤本光一郎・田中伸明・重松紀生	9:45 O-221 地殻下部物質の超高圧力条件下における鉱物共生. 川崎智佑・小山内康人
10:30	宮崎大学におけるキャンパス内露頭教材整備. 山北 聡・中山 迅・岩本俊孝・八ッ橋寛子・宇田津徹朗 O-248		10:00 O-127 ウルトラマイロナイトとFo・Enの流動特性. 田阪美樹・平賀岳彦・道林克禎	10:00 O-222 顕微赤外・ラマンを用いた接触変成帯の石灰岩の変成温度推定. 木村雅早・壺井基裕
10:45	伊良尾火山の火山礫・火山灰層の一部保存が決まるまでの経緯. 永尾隆志・堀川義之 O-249	10:30 O-118 南城R1の坑井層序. 加藤 進・本多孝安・大見謝恒慈路	10:15 休憩	10:15 O-223 北八ヶ岳横岳と蓼科山の岩石化学的研究. 大場孝信・井出有香
11:00	休憩	10:45 O-119 PF7下部の細分と基準面 (Marker A0) の提唱. 三輪美智子・古田土俊夫	10:30 O-128 滑りメカニズムを決定づける地球化学的シグナル. 本多 剛・石川剛志・廣野哲朗・向吉秀樹	10:30 O-224 レオロジカルな挙動を示す洞窟鉱物. 鮎沢 潤・齋藤 豪・平田 悠
11:15	高校地学教科書における火成岩分類法の問題点. 高橋正樹 O-250	11:00 O-120 古第三紀石炭の熱分解起源コールベッドメタンの資源ポテンシャル. 齋藤裕之・鈴木徳行・高橋幸士	10:45 O-129 石英の非晶質化の機械的エネルギー量. 滝沢茂・清水雅浩・小澤佳奈	(定番) 深成岩・火山岩とマグマプロセス
11:30	高校での地学課題研究におけるガイドブックの活用. 小泉治彦 O-251	11:15 O-121 関東温泉天然ガス. 金子信行・猪狩俊一郎・前川竜男・佐脇貴幸・代田 寧・小田原 啓・早稲田周	11:00 O-130 低温・低差応力における石英の圧力溶解. 宮川和也・楊 天石・川邊岩夫	座長：亀井淳志 (181-185)
11:45	高等学校における自然科学研究のありかた. 川勝和哉 O-252	11:30 O-122 始新世の超湿潤気候. 鈴木徳行・菊地 徹	11:15 O-131 人工カルサイトの双晶応力計. 坂口有人・阪口秀・西浦泰介・柳澤和道・久田 真・皆川 浩・寺田賢二郎・京谷孝史	10:45 O-181 白鷹火山の爆発的噴火期の珪長質マグマの生成機構. 廣谷志穂・伴 雅雄・石塚 治

※シンポジウムの講演には (S), トピックおよび定番セッションの講演には (O) の通し番号がついています.  
※講演タイトルはスペースの都合上略記版を掲載しています. 正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください.

■9月18日 (土) 午前

会場	⑤ (C22)
	(トピック) 平野地質：堆積と構造 座長：部厚志 (13-18), 宮地良典 (19-21)
9:30	9:30 O-13 北海道石狩市親船, 沖積層ボーリングコアGS-HIS-1の解析. 川上源太郎・船引彩子・磯前陽介・中島礼・木村克己・嵯峨山積・仁科健二・廣瀬亘・大津直
	9:45 O-14 石狩低地の最上部更新統~完新統の珪藻分析. 嵯峨山積・川上源太郎・仁科健二・大津直・廣瀬亘・小松原純子・木村克己
	10:00 O-15 ボーリング情報から推定される石狩低地下の完新世地殻変動. 大津直・廣瀬亘・川上源太郎・木村克己
	10:15 O-16 北海道東部釧路湿原D2コアの堆積学的検討. 高清水康博・阿部祐一
	10:30 O-17 新潟平野沿岸海域における堆積環境変遷. 天野敦子・井上卓彦・池原研
	10:45 O-18 海陸シームレスな沖積層地質構造の解明. 宮地良典・卜部厚志・井上卓彦・天野敦子・楮原京子・船引彩子・木村克己
	11:00 O-19 新潟県・高田平野の沖積層における火山性二次堆積作用. 卜部厚志・岡村萌・片岡香子
	11:15 O-20 ボーリングと <sup>14</sup> C年代に基づいた荒川低地の沖積層形成過程. 小松原純子・中島礼・木村克己・石原与四郎・福岡詩織・内田昌男
	11:30 O-21 碧海層と拳母層のN値の比較. 牧野内 猛・武邑圭司・大島 武・杉浦 武

	⑥ (D21)
	(トピック) アジア大陸の地質 座長：東田和弘 (54-58), 大藤 茂 (59-63)
9:30	9:30 O-54 (招待) Granitoid magmatism in Mongolia. Gerel Ochir
9:45	9:45 O-55 Granitic rocks from the western part of Mongolia. M. Owada, Y. Osanai, N. Nakano, A. Yoshimoto, S. Jargalan, C. Boldbaatar and M. Satish-Kumar
10:00	10:00 O-56 Pre-Middle Jurassic bed with 277-Ma granite dropstones in the Harhorin area, north-central Mongolia. S. Otoh, T. Fujimoto, M. Shimojo, K. Tsukada, C. Minjin, G. Sersmaa, N. Manchuk, Y. Kon, T.D. Yokoyama and T. Hirata
10:15	10:15 O-57 Redefinition of the Carboniferous formations in the Ulaanbaatar area, Mongolia. T. Suzuki, M. Takeuchi, K. Tsukada, N. Matsuzawa, G. Sersmaa and N. Manchuk
10:30	10:30 O-58 Reconstruction of terrestrial paleoenvironmental changes during the intervals of Oceanic Anoxic Events (OAEs) from the Jurassic-Cretaceous lacustrine deposits in SE Mongolia. H. Ando, H. Hasegawa, T. Hasegawa, T. Ohta, M. Yamamoto, N. Hasebe, G. Li and N. Ichinnorov
10:45	10:45 O-59 Structure of the eastern Khangai-Khentei belt, Mongolia. K. Tsukada, S. Otoh, T. Kurihara, B. Dorjsuren, C. Minjin, G. Sersmaa and N. Manchuk
11:00	11:00 O-60 Great Hiatus in the Cambrian Hitachi metamorphic terrane comparable to the North China Craton. M. Tagiri, D.J. Dunkley, T. Adachi and Y. Hiroi
11:15	11:15 O-61 (招待) Volcanic Stratigraphy & Petrochemistry of Chatree Gold Mine. P. Charusiri, T. Nakchaiya, W. Lunwongsa, D. Ishiyama, T. Mizuta and A. Poldee
11:30	11:30 O-62 Biostratigraphic and tectonic significance of Devonian radiolarians in northern Thailand. T. Kurihara and H. Hara
11:45	11:45 O-63 Multiple collision system and related metamorphism during Asian continental growth. Y. Osanai, N. Nakano, M. Owada, M. Satish-Kumar, T. Kawakami, T. Miyamoto, K. Yonemura and A. Yoshimoto

■MEMO■

※シンポジウムの講演には (S), トピックおよび定番セッションの講演には (O) の通し番号がついています。  
※講演タイトルはスペースの都合上略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。

■9月18日 (土) 午後

会場	① (C11)	② (C12)	③ (C13)	④ (C21)
	(定番) 第四紀地質	(定番) 応用地質およびノンテクトニック	(定番) 岩石・鉱物の破壊と変形	(定番) 深成岩・火山岩とマグマプロセス
	座長：片岡香子 (253-256), 西川 治 (257-260)	座長：須藤 宏 (237-240), 小嶋 智 (241-244)	座長：大坪 誠 (132-134), 武藤 潤 (135-138)	座長：伴 雅雄 (186-189), 荻津 達 (190-193)
13:00	13:00 O-253 北海道, 渡島半島に分布する赤色土-新潟県下の生成時代と分布状況からみた-, 仲川隆夫	13:00 O-237 ロシア, アルタイ山脈で発生した地すべり, 小嶋智	13:15 O-132 高温高压変形実験による含水石英岩のレオロジー解明, 清水以知子・渡邊悠太・道林克禎	13:00 O-186 宇奈月地域に産する深成岩類の岩石学的研究, 滝沢顕吾・大和田正明・亀井淳志
	13:15 O-254 田代湿原ボーリングコア中のテフラ, 柴正敏・小林宏行・箕浦幸治・小山田菜々枝・西圭祐	13:15 O-238 地すべり群と天然ダム, 畠山幸司・星野安治	13:30 O-133 断層帯における炭素鉱物の結晶構造変化とその力学的重要性, 大橋聖和・廣瀬丈洋・嶋本利彦	13:15 O-187 仁科山地に見られるA-type火成岩, 植木忠正・原山 智
	13:30 O-255 男鹿トラバーチンの年代と湯本断層に沿う温泉活動の変遷, 西川 治	13:30 O-239 宮崎県鰐塚山地に分布する斜面・段丘堆積物のテフラ編年, 西山賢一・長岡信治・高谷精二・鈴木恵三・北村真一	13:45 O-134 地殻岩石の電磁波スキンドープとフラクタル特性, 武藤 潤・高原一峰・長濱裕幸	13:30 O-188 剣尾花崗岩体におけるストロンチウム放射起源および安定同位体, 壺井基裕・木村祐美子・若木重行・浅原良浩
	13:45 O-256 南八ヶ岳山麓のボーリングコアの地質とK-Ar年代, 内山 高・浅野陽一・輿水達司	13:45 O-240 堆砂のFP法XRF分析, 加藤孝幸・飯田友章・植田和幸・水野直哉・小俣雅志	14:00 O-135 高次空間における地震波の幾何学, 長濱裕幸・谷島尚宏	13:45 O-189 西南日本, 領家帯柳井地域に分布する古期花崗岩のマグマ過程, 西塚 大・大和田正明・亀井淳志
	14:00 O-257 和歌山県友ヶ島における完新統の花粉化石群集, 此松昌彦・平 絢子・七山 太	14:00 O-241 地すべりの地形・地質特性について, 山城屋誠一・小嶋 智・永田秀尚・大谷具幸	14:15 O-136 二次元破壊パターンへの代数的構造, 山崎和仁・楠城一嘉	14:00 O-190 外帯花崗岩の下にあるもの: 熊野酸性岩から, 中島 隆・下司信夫・及川輝樹
	14:15 O-258 琉球石灰岩層中の不整合と空洞の発達, 黒田登美雄・橋本晴行・古川博恭・大城嘉和	14:15 O-242 岩盤すべりとトップリング, 永田秀尚	14:30 O-137 コヒスタン島弧ガブローライトの高温高压下での弾性波速度測定, 堤 大輔・石川正弘・有馬真	14:15 O-191 オマーンオフィオライトにおける斜長花崗岩類の結晶分化過程, 山崎秀策・宮下純夫
	14:30 O-259 広域テフラ層の層相・層序対比から見た給源火山と堆積場の関係, 片岡香子・長橋良隆	14:30 O-243 斜面のトップリング発生から崩壊への挙動, 須藤宏・上野将司	14:45 O-138 粒界における界面応力誘起クラック生成と弾性波速度, 渡部泰史・平賀岳彦・武井康子	14:30 O-192 ラセイル深成岩体の結晶作用, 土谷信高・村上源太郎・足立佳子・宮下純夫
	14:45 O-260 Paleoceanography of the Mauritanian margin, K.M.R Matsuzaki, F. Eynaud, B. Malaizé, A. Tisserand.	14:45 O-244 恵山の火山性ノンテクトニック断層, 田近 淳・石丸 聡		14:45 O-193 東南極セール・ロンダーネ山地の原生代変トーナール岩類, 亀井淳志・手打晋二郎・大和田正明・柚原雅樹・志村俊昭・東田和弘・原 有希

※シンポジウムの講演には (S), トピックおよび定番セッションの講演には (O) の通し番号がついています。  
※講演タイトルはスペースの都合上略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。

■9月18日 (土) 午後

会場	⑤ (C22)	
	(定番) 堆積相・堆積過程	
	座長：高川智博 (110-113), 江川浩輔 (114-117)	
13:00	13:00	O-110 洪水時に河口では何が起きているか? 山下翔大・中条武司・西田尚央
	13:15	O-111 渦構造と渦山構造. 中屋志郎
	13:30	O-112 佐渡西方海域における富山深海長谷の流路変化. 島野恭史・馬場 敬・佐藤大地
	13:45	O-113 ニュージーランド南島カンタベリー沖の堆積シーケンス. 保柳康一・村越直美・フルソープ クレイグ・プラム ピーター・317次航海乗船研究者
	14:00	O-114 四川盆地のT/J境界と下部ジュラ系. 坂井卓・平野弘道・香西 武・石黒拓央・Li Gang
	14:15	O-115 中国タリム盆地南西縁における新生代後期の乾燥化. 吉田知紘・多田隆治・Zheng Hongbo・豊田新・長谷川精・磯崎裕子・杉浦なおみ
	14:30	O-116 複合流リップル上の流れ場解析. 高川智博・横川美和・関口智寛・東 良慶
	14:45	O-117 GPR (地中レーダー) による実験堆積物3次元解析. 岡崎浩子・中里裕臣・郭 榮珠・平塚賢二郎

	⑥ (D21)	
	(トピック) ジュラ系+	
	座長：柿崎喜宏 (46-49), 石田直人 (50-53)	
13:00	13:00	O-46 大学の研究・教育・普及活動とジオパーク. 松岡 篤
	13:15	O-47 糸魚川地域の水上谷層の岩相と礫岩中の放散虫. 伊藤 剛・石田直人・茨木洋介・梅津 暢・酒井佑輔・中田健太郎・松本明日香・吉野恒平・松岡 篤
	13:30	O-48 八代地域の黒瀬川帯. 石田直人
	13:45	O-49 小山田層から得られた白亜紀のアンモナイト化石. 田村 翼・松岡 篤・竹谷陽二郎・八巻安夫・荒 好・二上文彦
	14:00	O-50 南中国のデボン紀後期における深海の環境変動. 角和善隆
	14:15	O-51 三疊系層状チャートにおける古海洋環境イベント. 堀 利栄・小玉一人・池原 実・山北 聡・相田吉昭・竹村厚司・鎌田祥仁・鈴木紀毅・高橋聡・Sporli K. Bernhard・Grant-Mackie Jack A.
	14:30	O-52 メガモンスーン仮説：層状チャートの堆積リズムの成因. 池田昌之・多田隆治・佐久間広展・烏田明典・野上孝也・山本信治
	14:45	O-53 パウ石灰岩層の炭素同位層序とその古海洋学的な意義. 柿崎喜宏・石川剛志・松岡 淳・長谷川卓・狩野彰宏

■MEMO■

※シンポジウムの講演には (S), トピックおよび定番セッションの講演には (O) の通し番号がついています.  
 ※講演タイトルはスペースの都合上略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。